

KANAGAWA HOHYUH CLUB

# 神奈川放友会

News letter



Vol. 1 No.2 Apr. 2008  
2

## 神奈川放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地  
ストーク伊勢佐木1番館501号  
TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578  
発行人 長谷川 武  
発行日 2008年4月15日



### 巻頭言

#### 神奈川県診療放射線技術講習会を活かそう

会長 長谷川 武

神奈川県診療放射線技術講習会は、全国に誇り得る長い歴史と実績を持つ。昭和22年以来、診療放射線技術に関する関係者の資質の向上をめざし企画・実行されて来た。昭和26年診療エックス線技師法制定の時から県衛生部主催の講習会となつて、中味の濃い品格のある講習が企画され、県民医療の特に放射線診療従事者の教育に大きく貢献している。また、この講習会は診療放射線技師法が出来た折は「診療放射線試験受験資格取得講習会」の母体ともなり、放射線技師にとっては生涯教育の場として活用してきたもので、充分承知していることでしょう。

放射線技術は日進月歩が激しく、診療放射線技術の情報や技術取得は容易ではないが、神奈川に

は先輩達が開拓した誇り得る「神奈川県診療放射線技術講習会」がある。平成19年度の開催は5日間で、延べ1736人の受講者があり109人が終了証書を受けている。放友会の仲間はこの講習会を積極的に受講すべきでしょう。

第一線を卒業されても技師資格を持つ者としては、「生涯教育の受講は義務」と心得て、是非参加され学習すると共に、仲間や先輩・後輩に会う楽しみと、情報交換に大変良い機会です。技師の意識を向上させ温存する最高の場と心得て、積極的に参加すべきです。放友会会員の社交の場としても活用し、一石二鳥の意識を持ちましょう。

また、平成20年度企画も9月から実施されるので、とにかく参加して向上心を高めましょう。

第83回

### 社団法人 神奈川県放射線技師会総会 開催される

平成20年3月8日(土) 14:30~15:30 鶴見大学会館2F会議室において、第83回(社)神奈川県放射線技師会総会が開催された。

参加者52名、書面表決114名、委任状526名であった。

第一部の議題は

- 1) 第一号議案 平成20年度事業計画案
- 2) 第二号議案 平成20年度予算案
- 3) 第三号議案 公益社団法人取得提案
- 4) その他

これらの平成20年度事業計画及び予算案の議案は賛成多数で承認されると共に、公益社団法人取得議案も承認された。

その概要は、第4次中長期将来計画委員会答申の実現

公益法人制度改革に伴う公益法人格取得への取り組み  
災害医療、原子力災害への対応として、独自のネットワークの確保を目指す 技師会広報事業の充実を図る

これらの基本計画と定款改定事業が盛り込まれている。

予算は、一般会計予算18,943,289円で前年度予算額に対して、591,772円の減額で承認された。

減額分は70周年記念事業積立て予定金相当額であり、削除されている相当額にほぼ一致している。

また、特別会計予算書は、横浜市及び川崎市の救急医療センター放射線業務受託事業費として、7,210,000円及び17,500,000円で、前年度予算額より約1,500,000円増しとなっている。

つづいて実施された第二部は、平成20・21年度の役員選挙である。

役員選挙では、会長候補の窪田宗雄、副会長候補の上前忠幸・高橋喜美、監事候補の坂野建治・林 幸一の各氏が選挙の対象になったが、規定により会長のみ信認投票となったが、参加者全員の賛成により全候補者が承認された。

また、理事の立候補者はなく、12条の規定により新会長に一任とされた。その後、新会長より12名の理事が紹介され承認された。

平成20・21年度の各員は、次のように決まった。

社団法人神奈川県放射線技師会			
平成20・21年度 役員			
会長	窪田 宗雄	54歳(国際親善総合病院)	
副会長	上前 忠幸	58歳(大和市立病院)	
	高橋 喜美	49歳(汐田診療所)	
監事	坂野 建治	59歳(川崎市立井田病院)	
	林 幸一	60歳	
理事	小林 淑高	仙臺真紀夫	早川 俊一
	斉藤 節	大内 幸敏	山崎 尚人
	千田 久治	安部 真	川又 郁夫
	大屋 博宣	松尾 清邦	伊藤今日一

平成20年度 診療報酬改定について

— 放射線部門を要点に —

平成20年度診療報酬改定に関する中央保険医療協議会（中医協）の答申を経て3月5日厚生労働省告示・通知が発表されたので、その内容より診療放射線技師に特に関係の深い診療報酬改定内容を中心に、ダイジェスト版にまとめたので認識されたい。

今回の改定率は全体改定率では0.82%の減額である。診療報酬の改定（本体）は0.38%増で（医科+0.42% 歯科+0.42% 調剤+0.17%）医科：歯科：調剤＝1：1：0.4の比である。薬価・医療材料改定は改定率1.2%の減で（薬価：1.1%減[薬価ベース5.2%減]）、材料価格0.1%減である。

診療報酬点数の評価の考え方としては、次の基本がある。

1) 評価を引き上げる要因

- 相対的に評価が高いもの
- 早期に広く普及する必要があるもの
- サービス提供のコストの上昇に合わせるもの
- 実勢価格の上昇に合わせるもの
- 財政面からの調整

2) 評価を引き下げる要因

- 相対的に評価が低くなったもの
- より進んだ技術が確立したもの
- より質が高いサービス提供体制が整備されたもの
- 普及目的が達成されたもの
- サービス提供のコストが下落したもの
- 短時間で実施できるようなもの
- 材料が安くなった
- 実施状況に照らして適正化が必要なもの
- 実勢価格の下落に合わせるもの
- 財政面からの調整

診療放射線技師にとって最も大きな影響のある項目は、デジタル映像化処理加算の廃止（21度以降）である。歯科デジタル映像化加算は、歯科エックス線撮影の場合10点から5点に、歯科パノラマ断層撮影の場合95点が50点に減点となった。

デジタル映像化処理加算の減点により画像診断管理加算の引き上げが行われ、画像診断管理加算1の58点が70点に、画像診断管理加算2の87点が180点に改定された。

デジタル映像処理加算が、現行ではフィルム運用の場合60点+フィルム改定では15+フィルム材料費となり、PACS運用の場合はデジタル映像化処理加算60点が改正され、電子画像管理加算60点と名称が変わったが、15点は平成21年度末までの経過処置である。

基本的な考え方は画像のデジタル化に係わる技術に代えて、画像を電子化して管理および保存する技術を評価しており、デジタル映像化処理加算の引き下げにより電子画像管理加算の引き上げが新設されている。

① デジタル映像化処理加算

	[現行]	[改定]
・単純撮影	60点	15点
・特殊撮影	64点	平成21年まで 電子画像管理 加算との併算 定不可
・造影剤使用撮影	72点	
・乳房撮影	60点	

② 電子画像管理加算

（従来のコンピュータ画像処理加算）

	[現行]	[改定]
・単純撮影	-	60点
・特殊撮影	-	64点
・造影剤使用撮影	-	72点
・乳房撮影	-	60点
・CT・MRI	60点	120点

また、コンピュータ画像処理加算の対象が拡大され点数が引き上げられた。この電子画像管理加算はエックス線診断料にも適応され、単純撮影60点・特殊撮影64点・造影剤使用撮影72点・乳房撮影60点となった。

これは現行のデジタル映像化処理加算は「撮影料として撮影行為」に認識されていたが、改定では画像診断管理加算および電子画像管理加算は「診断行為」に対する加算となった。主旨が大きく異なることを認識しなければならない。撮影行為と診断行為の評価が入れ替わった事実は、放射線技師にとっては技術評価の低下ではないのか。

単純CT撮影は「CT撮影」に変更され、特殊CT撮影は削除された。

また単純MRI撮影では1.5T以上のみ1230点が1300点に増点された。特殊MRI撮影は削除されたが、CTおよびMRIによる心臓撮影は項目が新設され、冠動脈のCT撮影600点加算、

心臓MRI撮影は300点が加算される。また超急性期脳卒中加算12000点が新設され、施設基準に「診療放射線技師が常時配置されていること」との文言が入った。

放射線治療については、放射線治療装置の保守管理、精度管理および照射計画の策定の体制評価により医療機器安全管理料2が新設され、1000点を算定することが可能となった。

また、強度変調放射線治療(IMRT)による体外照射を行った場合、放射線治療管理料500点、体外照射1回目3000点2回目1000点が新設された。更に外来放射線治療加算1000点も新設されたが、コバルト遠隔大量照射は1回目700点から500点に、2回目210点から150点に減点された。

今回の改定では勤務医の負担軽減を図るため、地域の急性期医療を担う病院において、医師の事務作業を補助する職員の配置が評価され新設された。

施設基準としては

病院勤務医の負担軽減計画の策定  
院内提示と職員への周知  
専従の医師事務作業補助者の配置  
新規に配置する際には最低6ヶ月の研修を実施  
などが条件となっている。

病院全体に影響がありそうな改定としては、再診料は57点が60点に、外来管理加算の算定には時間の目安の明記、さらには400床以上の病院での電子化加算が、算定不可となったこと等がある。

これら変更の見直しは病院全体の経営に大きな影響になると予想されるので、われわれとしても注視し、日本放射線技師会として「診療報酬対策」に積極的に取り組んで行く対策が必要であろう。



神奈川県放射線技師会会員の年代構成と年配者の勤務状況（平成19年3月22日現在）

図-1 神奈川県放射線技師会会員の年代別構成

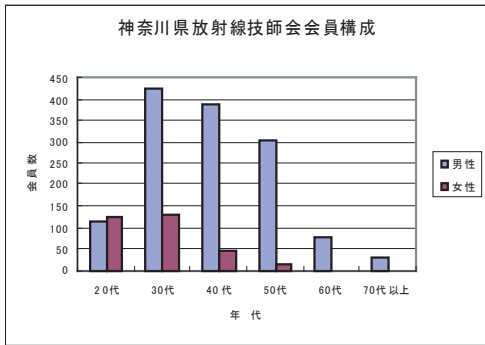
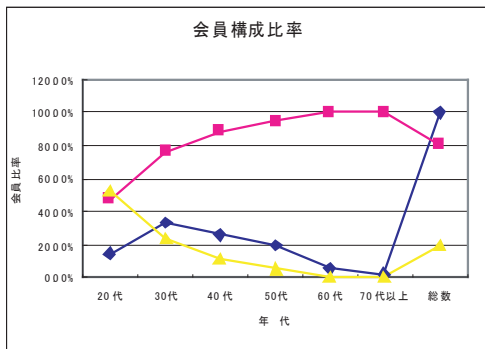


図-2 会員男女構成の比率



神奈川県放射線技師会の年代別会員構成と年配者の勤務状況を、神奈川県放射線技師会会員登録現状より調査したものである。

1) 年代別会員構成

総会員数1,655名を男女年代別に表したのが図1で、図2は男女の構成比である。20代で女性は52.5%、男性47.5%だが、60代以上では女性会員はゼロである。

また、会員男女比は男性：80.6%、女性：19.4%であり、60代以上の会員数は114名登録されており全会員数の6.8%にあたる。

2) 60歳以上の会員に於ける「年齢と勤務の状況」

表2は、60歳以上の114名に対する勤務職場の登録状況からまとめてものであるが、登録状況から見る限りでは73名（64%）が勤務していると理解される。

また、60～70歳をチェックアップすると25%～100%で、その平均は70%である。

表-1 神奈川県放射線技師会会員構成（2007.3.22現在）

年代	全会員数	全比率	男性	男性比率	女性	女性比率
20代	242	14.60%	115	47.50%	127	52.50%
30代	553	33.40%	421	76.10%	132	23.90%
40代	432	26.10%	385	89.10%	47	10.90%
50代	319	19.30%	304	95.30%	15	4.70%
60代	77	4.70%	77	100.00%	0	0.00%
70代以上	32	1.90%	32	100.00%	0	0.00%
総数	1,655	100.00%	1,334	80.60%	321	19.40%

表-2 60歳以上の会員に於ける「年齢と勤務の状況」

年齢	生まれ年	対象人数	勤務人数	勤務者比率	年齢	生まれ年	対象人数	勤務人数	勤務者比率
91	1916	1	1		74	1933	1	1	
90	1917					1934	3		
	1918	1				1935	3	2	
	1919					1936	6	2	
	1920				70	1937	3	1	33.30%
	1921	2				1938	4	2	50.00%
85	1922	2	1			1939	7	2	28.60%
	1923	1				1940	9	7	77.80%
	1924	1	1			1941	6	3	50.00%
	1925	1			65	1942	4	1	25.00%
	1926	1	1			1943	8	6	75.00%
80	1927	1	1			1944	9	7	77.80%
	1928	1	1			1945	8	6	75.00%
	1929	4	3			1946	17	15	88.20%
	1930				60	1947	7	7	100.00%
	1931					合計	114	73	64.00%
75	1932	3	2			60-70歳	82	57	69.50%

3) 60歳以上の会員勤務施設の内容

- クリニック・診療所 : 17名 23.3%
- 検診センター・保健所・協会 : 14名 19.1%
- 病院 : 38名 52.0%
- その他 : 4名 5.4%

登録資料から理解できることは、60歳の定年後も、かつての職場を退職または変更して、検診センターやクリニック及び病院等で勤務している。

年配者の就職状況の現状を理解するために、神奈川県放射線技師会の協力を得て作成したものである。

関連の参考資料として「神奈川県放射線」のVol.60 No.5 Jan. 2008に、「平成19年度(社)神奈川県放射線技師会施設調査に関する報告」が掲載されている。

年齢群別就業状況や施設技師欠員・募集状況が報告されているので参照されたい。





# みんなの広場

皆様こんにちは、橋口邦紘です  
副会長 橋口 邦紘

横浜南共済病院に40年間勤務後、平成16年に定年退職いたしました。

退職後医療の現場から離れていましたが、この度「神奈川放友会」発起人の一人として名を連ねることになりました。微力ではありますが、現役の皆様と退職された方々は勿論、放友会の趣旨の大きな柱である、賛同される放射線技師以外の職業の方々とも気軽に交流、情報交換の出来る場を作りたいと思っております。

気楽に集まり、過去を語り、現在を語り、未来を語りましょう。

神奈川放友会では年4回Newsletterを発行致します。ご自分の趣味、特技、短歌、俳句、医療界、産業界、最近の株安、地球温暖化、新聞を読んで感じたこと、テレビを見て思った事どんな事でもかまいません、技師会内「神奈川放友会事務局」まで封書、技師会FAX等でお送り下さい。

皆さん「神奈川放友会」を宜しくお願い致します。

## ☆ 自己紹介 ☆ 理事 村松 康久

5年前に定年退職をして、今は水、木、土と働いています。趣味は釣り、山、スキー、ゴルフです。

しかし今は膝を痛めて、釣り以外はドクターストップです。食べ物に好き嫌いはありません。お酒飲めません。

放友会の会議が水曜日に開催されているので、休みが取れず出席できずにいます。どなたか手伝って頂ける方はいませんか。

ちなみに技師会雑誌212号の求人欄に募集が掲載されています。(津久井浜整形外科)

技師の身分保障、社会的地位の向上、免許の更新制度等など、県技師会と各地域放射線技師会と連絡を取り合って取り組んで行きます。

軌道にのったら懇親会、交流会も進めて行きます。

## 神奈川放友会の設立に思う！ 理事 小松崎 真一

異例と言ってもいいほどのスピードで設立された会に、感動と驚きを感じております。

この試みは技師会にとっては、兼ねてからの構想であったものと思ひ、意欲的な技師会を感じて気持ちは高揚しました。

長年にわたり技師会に一会員として身を置いて来たのですが、昨年、図らずも当会と"つながり"が持てたのは私にとって有意義でした。

思えば、定年を迎えるその前後5年位は激動と変化の連続でしたが、その間をほぼ乗り切れようとしている矢先に、技師会から情報交換の呼びかけがあったのだと受け止めております。

私は仕事や暮らしの中に、何か燃えるものを感じていた時期でもありました。「日頃感じていること、疑問、知りたいこと」は、表現しなければ環境は何も変わらないと思ひます。会話や雑談を通じて"つながり"が出来て、それが"絆(きずな)"になるように望んでおります。

そのために、各会員さんと沢山話が出来ないかと思っております。また、交流の輪によって、多くの声が聞けないでしょうか？

定年前後の4～5年は未知の体験でしたが、56歳の時に最愛の家内をがんで亡くしました。

その後、定年近くになり仕事に意欲が無くなり、どうしたらよいか困惑の日々でした。定年退職後の生活はどう生きたらよいかなど、思うようにいきませんでした。その中で頑張れたのは、周囲のみなさんに支えられていたからではないか、と感謝しております。

63歳の時、知人から自治会役員を薦められ、現在自治会活動中です。1600余名の会員を要し"つながり"の大切さを感じております。

「神奈川放友会」が今後意義ある会として、発展するように念願すると共に、役員の本務を果たしたいと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

## 「相模湾放浪学」に参加して H.Y 生

ある時、シティー情報で「神奈川県の海岸線2百キロの自然・歴史・文化を学ぶ」企画を知り、併せてアウトドアを楽しめれば幸いと思ひ参加した。

講師は「茅ヶ崎歴史散策の会」の地元湘南に大変精通している、教養講座 講師「鎌倉歴史散策 / 春の江ノ島詣で / 湘南海岸巡り」等の方々です。

講座は原則的には、最寄りの駅前に午後1時に現地集合する方式でした。アウトドアは約2時間半で、その間に名所、名刹、ゆかりの地など、3ヶ所ほどを丹念に巡りました。

その際、講師から簡潔な説明があります。また、非常に不便な所を数箇所巡る時は、最寄り駅などに貸し切りのバスを用意して一気に回りました。

自然の香り豊かな海岸である相模湾沿岸を、月1回講師と一緒に歩いて歴史や文化を学ぶシリーズで、名称は「相模湾放浪学」要は湯河原から三浦半島までの長い海岸線を勉強して、併せて野外散策を楽しもうと言うことです。

講座の講師は地理に大変明るい先生でした。講座はまず一昨年9月に相模湾に関して概括的に学び、それから秋の訪れた10月より現地散策を始めたので、2年がかりの前半では湯河原 / 小田原 / 大磯 / 平塚辺りまでを優先し、昨年6月で終わりました。

2年目の後半が、昨年9月より江ノ島、鎌倉、逗子、葉山、三浦など風光明媚な一帯をゆっくりと歩いて学ぶ方式で、第一水曜日でした。

1年が終わり、後半の行程は残る「湘南海岸と三浦半島西岸部」を集約的に勉強です。よい企画でした。(ある旅人より)

## 氏家盛通氏が教授に就任

元横浜市立大学病院技師長・前駒澤大学助教授の氏家盛通氏が、2008年4月駒澤大学医療健康科学部の教授に就任した。



馴れない編集でしたが、技師会総会、診療報酬改定、年配者の勤務状況などにポイントを絞りました。次号も楽しみに。